

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市大野田老人福祉センター
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3 指定期間	令和3年4月1日～令和8年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和6年度 25,419人（前年度比 98.0%） 令和5年度 25,942人 令和4年度 27,933人 《事業》 市内に住所を有する60歳以上の高齢者に対し、各種の相談に応ずるとともに、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与する。
5 収支の状況	《費用》 ()は前年度決算額 - 指定管理者に支払った費用 28,738千円 (28,738千円) - その他市が負担した費用 0千円 (0千円) 《収入》 - 使用料収入 0千円 (0千円) - その他収入 0千円 (0千円)
6 利用者の声	《実施状況》 令和7年2月に利用者アンケートを実施。その他にも利用者向けに「ご意見箱」の設置や利用者代表で構成される管理運営委員会の開催など、利用者の提案内容や要望等に耳を傾けながら事業運営を行っている。

二 管理運営に係る評価（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	老人福祉センターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康づくりや、公平・公正な利用、高齢者の特性を理解したうえでの心身への配慮に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	33/33
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	25/25
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な応対と分かりやすい説明を心がけている。また、毎月のセンターだより発行など、利用者への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。 さらに、利用者の意見や苦情に対し、その対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、管理運営委員会における意見交換等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。	28/28
V 施設固有の基準	高齢者が自ら学んだことを発表する機会の設定を積極的に行なっており、利用者の主体的な企画実施に対する支援も行っている。 また、利用者の代表者で構成する委員会を開催し、利用者が施設運営に関わる仕組みづくりを推進しており、利用者意見を取り入れた企画の立案を行っている。	9/9

三 評価総括

《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》
施設利用状況において報告したとおり、当該年度の延利用者数が前年度から2.0%の減であるが、開館日数が前年度より6日少ないことが影響しており、1日平均は89.2名（前年度89.1名）と横ばいであった。今年度は各種コンサート等の行事や健康増進講座、教養講座等多彩なイベントの開催を増やし、フレイル予防や教養の向上、交流の場づくりを図り多くの方に参加いただいた。 新年度は高齢者の関心の高い終活に関するセミナーを始め、健康的に前向きな生活を送るための様々な事業の推進に努める。 また、老人福祉センターは、自立的に日常生活を送ることができる方が利用される施設ではあるが、加齢に伴い困難さが増してきている利用者もみかける。私達は看護師を中心にしてそういった方々の利用を注意深く見守り、必要があれば地域包括支援センター等へつなげるなどの対応を行っているところである。今後とも認知症等について職員の識見を高めて、よりきめ細やかな対応を心掛けていく。また、日常生活の悩みを気軽に安心して相談できるような信頼関係づくりに引き続き努める。

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
令和6年度の管理運営について、協定書および仕様書に基づき、適切かつ良好に実施された。 大野田老人福祉センターでは地域住民の健康維持と社会参加を促進するため、コンサート、健康増進講座、教養講座など、多彩なイベントを積極的に開催しており、中でも次年度に向けて「終活」に関するセミナーの開催を計画している点は、利用者の関心や社会情勢の変化に対応した事業展開として高く評価される。 また、施設の性質上、自立した高齢者が主な利用者であるが、加齢に伴う困難を抱える方も見受けられる中、看護師を中心とした声掛けや見守りを通じて、必要に応じて地域包括支援センター等へつなげる体制を整えている点は、利用者に寄り添った柔軟な対応に努めている。 また令和6年度においても前年に引き続き仙台市主催のeスポーツ教室の運営への協力を行っている。 以上の内容から、大野田老人福祉センターの令和6年度の運営は、総合的に高く評価できる。	S

四 その他特記事項（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

特記事項

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課